

## 国際ロータリーとロータリー財団の 2021-22 年度年次目標

### 優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
2. 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつづ、2025 年までに恒久基金を 20 億 2500 万ドルまで成長させる
3. 以下の項目における測定可能なインパクトを向上させ、効果的にコミュニケーションする
  - a. クラブによる奉仕プロジェクト
  - b. 地区補助金、グローバル補助金、大規模プログラム、ポリオプラス、ロータリー平和センター
4. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、政府機関との機会も含め、新たなパートナーシップを築く。
5. より大きなインパクトをもたらすため、プログラムを通じた活動に焦点を当てる。

### 優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

6. 以下の方法で、ロータリーの会員数を 130 万人に増やす
  - a. 既存クラブへの新会員ならびにより多様な会員の入会を促すための行動喚起として、「Each One, Bring One（みんなが一人を入会させよう）（仮訳）」を強調する。
  - b. 新クラブと革新的なクラブおよび参加者の参加経路を作り出すことにより、参加者の増加と多様化を図る。
  - c. 理事、地域リーダー、地区会員増強委員長間の協力とアカウントビリティを高める。
7. ソーシャルメディアにさらなる焦点を当てることを含め、ロータリーのブランドとイメージを強化する。

### 優先事項 3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. テクノロジーを生かすことを強調し、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリークラブの会員、その他のロータリー参加者の積極的なかかわりを促す。
9. すべての参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブの間の協力を増やす。
10. 中核的価値観を積極的参加の中心に据える。
11. ロータリー参加者間のビジネスのためのネットワークの機会を通じ、積極的参加を向上させる。

### 優先事項 4「適応力を高める」の目標

12. 直接会う会合、研修、ファンドレイジング、奉仕プロジェクトを最適化するため、バーチャル技術の使用を支援・奨励する。
13. ボランティアのリーダーシップ構成を見直し、責務とアカウントビリティを向上させる。
14. ガバナンスとサービスの提供における地域化を支援する。